

## 住民の皆様にお伝えしておきたいこと

### 1 町の財政状況

財政指標から判断すると、神石高原町の状況は、決して悪くありません。むしろ広島県内では良い方です。しかしながら、今のままの運営を続けると…

①町税収入の大幅な増加が見込めない中、老朽化した公共施設の維持管理費の増加をはじめ、エネルギーや資材費、労務単価の高騰からなる委託料の増加、人件費の高騰、固定的な経費の高止まり、特別会計や公営企業会計に対する繰出金や補助金など必要経費の増加を避けることができない状況

②入ってくるお金だけで出ていくお金をまかなえず、近年、町の貯金（基金）を取り崩して収支を黒字化する扱いが続いています。（歳出超過）

③令和7年度実施の国勢調査における人口減少の影響に伴い、令和8年度以降の普通交付税の大きな減少（▲3.5億円）を見込んでいます。

④令和8～12年度までの財政収支見通し推計の結果、累計で約26億円の収支不足を見込んでいます。

### 2 課題

◆町の貯金に当たる基金に依存した予算編成、執行が続いており、現状のままの財政運営では、基金が毎年減少し、いずれ枯渇しかねません。

◆歳入に見合った健全な財政運営ができていません。

◆後年度予定する大型事業（し尿処理場、福柗川大橋）など避けることのできない公共施設の改修を控えており、財源を確保する必要があります。

### 3 「第4次神石高原町行財政改革プラン」を策定し課題解決に取り組めます。

・財政規律を堅持し、将来に責任のある行財政運営と持続可能なまちづくりを進めます。住民サービスの維持に配慮したうえで、ゼロベースで検証する事業見直しを進め、常態化した歳出超過を解消し、基金に頼らない、収支が均衡した持続可能な財政構造への転換を図るとともに、社会情勢に応じた行政需要に的確に対応し、「今」と「将来」を見据えた施策を推進します。  
（計画推進期間 令和7年度から令和12年度までの6年間）

地域住民の皆様の生活、くらしへの影響は？ 【関連項目抜粋】

◆使用料、手数料など受益者負担の適正化

特定の事業やサービスによる利益を受ける人が、費用の一部又は全部を負担することで、町民全体の負担を合理的かつ公平に分配することを目指す。

◆事務事業（補助金含む。）の見直し

①国県の補助制度と重複類似の制度がある場合や、効果が見込めないものなど廃止

②個人の資産形成に繋がる補助の再度検証

③受益者負担の原則の再確認。義務的なものを除き受益者に相応の負担を求める。

④各種団体補助は、資金の繰越が多い団体に対する支出等については、減額、縮小、上限設定を行うなどの抑制を図る。

◆公共施設のあり方の見直し

機能維持、施設維持、廃止といった「機能の方向性」「施設の方向性」を決定 など

今後のスケジュールは、9月から10月中旬にかけて、担当課による関係団体への具体的な説明、ヒアリング（状況の聞き取り）、協議などを予定しております。

また、住民の皆様に向けては、町広報誌でのお知らせを計画しております。

皆様の御理解と御協力がなければ、この取り組みの成果を出すことはできません。

未来を見据え、次代に備え、課題解決に活用できる財源をつなぎ、持続可能なまちづくりに努めてまいります。

1. 補助事業・事務事業見直しスケジュール（あくまでも目安であり、状況により前後する可能性あり）

No.	項目	時期	担当課	備考
①	住民説明会	8/21、26、28、9/1	総務課	協働支援センター 自治振興会
②	関係団体等調整	9/1～10/15	各課	見直し内容提示 調整 内容整理
③	フォローアップ・集約	～10/31	総務課	進捗確認 調整内容確認 集約
④	最終結果通知	～11/28	総務課 →各課	トップ判断を経て通知
⑤	当初予算要求入力	11月～12月中旬	各課	

2. 補助金見直し状況（R7.8.1 現在）

削減目標：R7～R12の6年間で6.5億円

所属課	見直し事業数	現状維持	削減 ( )内は調整中	廃止 ( )内は要綱廃止	見直し額（千円）
総務課	22	9	6 (4)	7 (4)	△ 8,820
政策企画課	3	1	1	1	△ 30,500
未来創造課	45	16	21 (19)	8 (6)	△ 3,550
子育て応援課	19	14	4	1 (1)	△ 10,550
福祉課	43	35	1	7 (7)	△ 990
健康衛生課	20	6	0	14 (10)	△ 1,510
産業課	66	30	26	10 (6)	△ 40,256
建設課	12	11	1	0	△ 4,500
教育課	10	6	2	2	△ 6,409
合計	240	128	62 (23)	50 (34)	△ 107,085

※R7当初予算比較

3. 事務事業見直し状況（R7.8.1 現在）

削減目標：R7～R12の6年間で11.5億円

所属課	見直し事務・事業数	現状維持	削減	廃止・完了	検討中	影響額（千円） R8当初
総務課	49	20	25	1	3	△ 5,025
政策企画課	15	7	5	0	3	△ 1,550
未来創造課	31	19	8	0	4	△ 13,378
住民課	7	6	1	0	0	0
子育て応援課	23	19	1	0	3	0
福祉課	51	40	6	0	5	0
健康衛生課	36	12	6	1	17	△ 18,180
産業課	35	19	5	0	11	0
建設課	43	35	2	1	5	△ 150
会計課	3	2	0	0	1	0
議会事務局	3	0	0	0	3	0
教育課	43	27	5	1	10	△ 39,587
油木支所町民課	4	1	1	0	2	0
神石支所町民課	7	0	4	0	3	0
豊松支所町民課	5	0	3	0	2	0
合計	355	207	72	4	72	△ 77,870

※R7当初予算比較

検討中（調整中）の事業が、補助事業で23事業、事務事業で72事業あり、今後関係団体等との調整のうえ、さらなる削減効果を見込んでいます。

また、公共施設のあり方の見直しも行うこととしており、指定管理施設も含め、本町が運営する公共施設の運用状況やコストを再精査し、利用頻度の低い施設の統廃合を進めていきます。